

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN119
1	科目名 英語科目名	日本語及び日本事情 I Interpreting Japanese and Japanese Culture I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 外国人留学生1年前期 斎藤安輝*
3	授業テーマ・内容	現代日本語を理解し、日常的に使用するために必要な知識を身につける。 他言語との比較をすることで、現代日本語の特質を理解する。 また、身近な日本文化や習慣を理解し、日本で生活に溶け込めるようにする。
4	学習成果	日常生活を不自由なく送れるための会話力の習得 授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得。 正しい発音でプレゼンテーションができる。 日本語で手紙が書けるようになる。
5	履修条件	留学生試験合格者に限る

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週		本講義の目的と要点を説明。	予)シラバスを読んでおく(2時間) 復)ノートの整理(2時間)
第2週	自己紹介と質疑応答①	留学の目的について(何を求めるか)	予)自分が何を話すか考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第3週	自己紹介と質疑応答②	留学の目的について(何を求めるか)	予)自分が何を話すか考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第4週	日本での生活①	日本に来て困ったこと、分からないこと①	予)自分の困ったことについて考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第5週	日本での生活②	日本に来て困ったこと、分からないこと②	予)自分の困ったことについて考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第6週	日本語の特徴①	他の言語と比較して日本語の特徴①	予)自国語と日本語の共通点や違いを考える(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第7週	日本語の特徴②	他の言語と比較して日本語の特徴②	予)自国語と日本語の共通点や違いを考える(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第8週	日常の会話表現①	日常生活で使う微妙な言い回し①	予)日常生活で分からなかった表現をメモしておく(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第9週	日常の会話表現②	日常生活で使う微妙な言い回し②	予)日常生活で分からなかった表現をメモしておく(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第10週	日本の年中行事と習慣①	日本の伝統的な年中行事や習慣①	予)自国との違いについて考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第11週	日本の年中行事と習慣②	日本の伝統的な年中行事や習慣②	予)自国との違いについて考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第12週	プレゼンテーション①	日本の行事や習慣について説明する①	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第13週	プレゼンテーション②	日本の行事や習慣について説明する②	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第14週	日本語での手紙の書き方	所定の書式に従って手紙を書く①	予)手紙の用途(2時間) 復)手紙の書式と用語(2時間)
第15週	ビジネス文書の書き方	所定の書式に従って手紙を書く②	予)手紙の書式の確認(2時間) 復)手紙を書く(2時間)

## シラバス基本情報

6	備考	本講義は、内容的にⅠ・Ⅱで一体のものなので、前期後期通年で履修することが望ましい。
7	テキスト・参考書	テキスト:必要なプリントは授業時に配布する。
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	随時課題を提出させ、添削の上返却、指導する。

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-2 コミュニケーション・スキル
期末試験 筆記試験 レポート試験		
授業時間内 試験・演習	80	
授業時間外 レポート 平常点	20	

## ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
日常生活を不自由なく送れるための知識と会話力の習得	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積極的に吸収し、疑問があれば自ら解決法を探ることができる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を充分持ち、疑問があれば質問して解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識をある程度持ち、疑問があれば助言を受けて解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積最低限持ち、疑問があれば詳しい助言を受けて解決できる。	到達目標を達成できていない。
授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得	専門も含めた授業で日本語を聞き取ることができ、また日本語だけで内容をまとめたノート取ることができる。	ほとんどの授業で日本語を聞き取ることができ、またおおよそ日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	大体の授業で日本語を聞き取ることができ、また簡単な日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	授業で日本語を一部聞き取ることができ、また日本語でメモ程度にノート取ることができる。	到達目標を達成できていない。
正しい発音でプレゼンテーションができる力の習得	日本語を正しい発音とイントネーション、十分な速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語をほとんど正しい発音とイントネーション、速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語を大体正しい発音とイントネーション、ある程度の速さで話すことができ、話す順序を考えて組み立てられる。	日本語をある程度正しい発音とイントネーション、最低限の速さで話すことができ、助言を受けければ話す順序をある程度論理的に組み立てられる。	到達目標を達成できていない。
日本語で手紙が書けるようになる。	手紙を、漢字仮名交じりで美しく、書式に従って慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙を、漢字仮名交じりで正確に、書式に従って慣用的な表現を部分的に交えて書くことができる。	手紙を、大体漢字仮名交じりで、書式に従って、助言を受けければ、慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙を、助言を受けければ漢字仮名交じりで、書式に従って最低限の慣用的な表現を交えて書くことができる。	到達目標を達成できていない。

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN207
1	科目名 英語科目名	日本語及び日本事情Ⅱ Interpreting Japanese and Japanese Culture Ⅱ
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 外国人留学生1年前後期 斎藤安輝*
3	授業テーマ・内容	現代日本語を理解し、日常的に使用するために必要な知識を身につける。 他言語との比較をすることで、現代日本語の特質を理解する。 日本語の英語表現を理解し、日常会話で使用できる。
4	学習成果	日常生活を不自由なく送れるための会話力の習得 授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得。 日本語の敬語の習得。 正しい発音でプレゼンテーションができる。 日本語で書類が書けるようになる。
5	履修条件	留学生試験合格者に限る

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週		本講義の目的と要点を説明。	予)シラバスを読んでおく(2時間) 復)ノートの整理(2時間)
第2週	敬語①	日本語の敬語表現の種類と用途	予)自国語に敬語表現があるか考える(2時間) 復)日本語の敬語表現の意味を確認する(2時間)
第3週	敬語② 尊敬語	尊敬語のレベルと表現	予)自国語の尊敬表現を考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第4週	敬語③ 謙譲語	謙譲語の意味と表現	予)自国語の謙譲表現を考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第5週	敬語③ 丁寧語・美化語	丁寧語・美化語の意味と表現	予)自国語の丁寧語を考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第6週	日本語能力検定試験①	動詞	予)自分の日本語能力に応じたレベルを確認(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第7週	日本語能力検定試験②	副詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第8週	日本語能力検定試験③	接続詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第9週	日本語能力検定試験④	疑問文と不定詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第10週	日本語能力検定試験⑤	名詞と代名詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第11週	日本の年中行事と習慣	日本の伝統的な年中行事や習慣	予)任意に日本語の年中行事について調べる(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第12週	プレゼンテーション①	日本の行事や習慣について説明する①	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第13週	プレゼンテーション②	日本の行事や習慣について説明する②	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第14週	ビジネス文書の作成①	ビジネス文書の種類と書式、用語	予)自国のビジネス文書との比較(2時間) 復)ビジネス文書を書く(2時間)
第15週	ビジネス文書の作成②	所定の書式に従ってビジネス文書を書く	予)ビジネス(文書の書式の確認(2時間) 復)ビジネス文書を書く(2時間)

## シラバス基本情報

6 備考	本講義は、内容的にⅠ・Ⅱで一体のものなので、前期後期通年で履修することが望ましい。
7 テキスト・参考書	テキスト:必要なプリントは授業時に配布する。
8 課題・試験・レポート等のフィードバック	随時課題を提出させ、添削の上返却、指導する。

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-2 コミュニケーション・スキル
期末試験 筆記試験 レポート試験		
授業時間内 試験・演習	80	
授業時間外 レポート 平常点	20	

## ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
日常生活を不自由なく送れるための知識と会話力の習得	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積極的に吸収し、疑問があれば自ら解決法を探ることができる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を充分持ち、疑問があれば質問して解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識をある程度持ち、疑問があれば助言を受けて解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積最低限持ち、疑問があれば詳しい助言を受けて解決できる。	到達目標を達成できていない。
授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得	専門も含めた授業で日本語を聞き取ることができ、また日本語だけで内容をまとめたノート取ることができる。	ほとんどの授業で日本語を聞き取ることができ、またおおよそ日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	大体の授業で日本語を聞き取ることができ、また簡単な日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	授業で日本語を一部聞き取ることができ、また日本語でメモ程度にノート取ることができる。	到達目標を達成できていない。
正しい発音でプレゼンテーションができる力の習得	日本語を正しい発音とイントネーション、十分な速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語をほとんど正しい発音とイントネーション、速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語を大体正しい発音とイントネーション、ある程度の速さで話すことができ、話す順序を考えて組み立てられる。	日本語をある程度正しい発音とイントネーション、最低限の速さで話すことができ、助言を受けなければ話す順序をある程度論理的に組み立てられる。	到達目標を達成できていない。
日本語で手紙や書類が書けるようになる。	手紙や書類を、漢字仮名交じりで美しく、書式に従って慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙や書類を、漢字仮名交じりで正確に、書式に従って慣用的な表現を部分的に交えて書くことができる。	手紙や書類を、大体漢字仮名交じりで、書式に従って、助言を受ければ、慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙や書類を、助言を受ければ漢字仮名交じりで、書式に従って最低限の慣用的な表現を交えて書くことができる。	到達目標を達成できていない。